

第2回 相模川ふれあい巡視 H21.10.18

意見・提案は原文のまま記載してあります。
一部、読み取れない部分は「」としてあります。
ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換グループ等	付箋紙の色分け(カテゴリー)	意見内容
A	環境	河川敷で迷惑騒音を出さない。
A	環境	音の出る花火等は午後10時以降禁止(住民居住地に隣接している)
A	環境	市行政が一つの土俵を作るべきこと。個々の地区はある様子だが、全地域が土俵に上がり事業を進めてほしい。
A	環境	広場、公園としての整備が良い。広場、野球場、公園、流下能力に支障がないもの)
A	環境	草等が繁茂して、自然が良い。
A	その他	一般利用者に一定のルールを設ける必要がある(特に猿ヶ島地区)
A	治水	堤防道路(厚木市右岸)はサイクリングロードにする(特にリバーサイド横)
A	その他	河川管理者と流域自治体が河川敷き利用禁止の統一共通ルールを策してみたら。
A	利水	ほほえみ広場付近を流れる水が汚れ、水量が少ない。上流本流からの流況回復改修をする。
A	利水	川の水量を多くしてほしい。汚れが多すぎる。
A	利水	秋の水落とし後の水位が低下し、ほとんど流れがない様子。本流からの導水にて、水位、水量、水質を確保すべきである。
A	環境	本日の巡視場所の中で親水公園としての環境は抜群で、利用状況とのバランスもよい様子。
A	環境	戸沢橋から東名高速までの間、相川小学校、相川中学校もあり、水辺の楽校として整備願いたい。地元住民も10年前からそのつもりでいます。
A	環境	S字の低水路が豊かな(多様な)環境を形成していた。
A	環境	手を加えるところと加えないところを区別する。公示する。
A	環境	中洲のアレチウリでダメになった緑地を何とかしてほしい。
A	環境	バードゴルフ、モトクロス場は廃止してほしい。
A	環境	ターゲットバードゴルフ場は中止してビオトープにしてもらいたい。
A	環境	利用の少ないグラウンド等は他の利用(環境保全)等にしたいほうがよい。(東名下流)
A	環境	相川小学校横は湿地帯であり、ターゲットバードゴルフ場は水辺の楽校(ビオトープ)に変更する。地元要望ではない。
A	環境	河川環境を教育の場として活用しているのが良かった。相川小学校
A	環境	スポーツ広場の水はけが悪い。
A	環境	相模大堰、酒井スポーツ広場、河川敷で平日又は早朝のゴルフ練習等は重大な事故になるので禁止。
A	その他	竹炭をまいたりして努力しているが、大腸菌の問題が不安で子供達が河川に入れない。
A	その他	相模大堰の管理橋が放置されているが、左右岸のネットワークを図るためには利用方法を考えてほしい。歩行、自転車
A	その他	あゆみ橋上流左岸の利用計画に対する考え方を知りたい。
A	その他	交通の利便性が高いので主要人数が多いトイレ等を増やしてほしい。
A	その他	厚木市側の河川敷を海老名市側と同じように整備しない。

第2回 相模川ふれあい巡視 H21.10.18

意見・提案は原文のまま記載してあります。
一部、読み取れない部分は「 」としてあります。
ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換グループ等	付箋紙の色分け(カテゴリー)	意見内容
A	その他	海老名市側は三川公園が十年前にできているのに厚木市側は全くできないのはなぜなのか。
A	その他	もっと人手を加えてもよい場所といえる。
A	その他	三川合流の親水性を高めるためにトーヨーソフランから水辺に行くための環境整備に努めてほしい。
A	その他	三川合流の厚木側の広場はよい環境である(水辺に親しみやすい)
A	その他	三川公園の下流への拡大整備を図ってほしい。
A	その他	駐車場と利用のエリアの整備
A	その他	駐車場の場所に問題がある。マナーの悪さが目立つ。車の入り込み、テーブル持ち込みなど家が横滑りしてきた状況。
A	その他	河原への車両乗り入れは禁止すべき。(決められた区域で駐車)
A	環境	自然環境を元に戻す(樹林化を解消)ワツカー等クワッド利用は反対
A	その他	バイク、ラジコン、環境の共生が必要(ルールづくり)
A	その他	モトクロスのコース内に人が入って行ったら危険。利用中(走行中)の安全確保を。
A	その他	厚木市側はスポーツ広場が多すぎる。市の計画中止を願いたい。
B	利水	神奈川県は水余りになっている。それを合理化して相模大堰のゲートを上げたい。
B	利水	川の環境を取り戻すためには流量の確保が重要。適切な流量の決定及びそれを確保する手法の検討
B	利水	環境等に配慮した水需要予測を作るべき。開発ありきはもうおしまいの時代。最低限の取水に市、川の水量を増やす。
B	利水	取水堰は全面堰止めで環境への負荷が大きい。片側だけで取水し、もう片側は自然の流れにしてほしい。
B	環境	アユの転がし釣りは止めてほしい。
B	環境	これ以上自然に手をつけられないようなルール作りが必要
B	環境	河川環境復元について具体的な計画を立ててほしい。
B	環境	生物多様性を確保するために川のアーマーコート化を防ぐための方策を実行すべき。
B	環境	河川環境復元について具体的な計画を立てていただきたい。
B	環境	河川敷に生育する有害な外来植物の駆除を図っていただきたい。
B	環境	出水時に災害にならない範囲で水を流し、河原をフラッシュすることで玉石河原などを復元
B	その他	市民・事業者・行政の話し合いの場を作るべき。ふれあい懇談会・委員会・行政連絡会と別々で、意見交換が行えない。
B	その他	運営、企業団、ダム管理事務所、漁協、土地水資源などが、市民・団体と話し合う場を作ってほしい。
B	その他	整備計画が策定されるまで、現行検討されている計画はストップすべき。
B	その他	計画のある工事、利用計画は整備計画づくりで議論すべき。
B	利水	適正な水利用について再検討が必要。川に水を戻すため。

第2回 相模川ふれあい巡視 H21.10.18

意見・提案は原文のまま記載してあります。
一部、読み取れない部分は「 」としてあります。
ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換グループ等	付箋紙の色分け(カテゴリー)	意見内容
B	利水	生田の地下水廃止はダム・堰開発が原因。地下水水源は将来にわたり保持すべき。
B	利水	最低限の水利用、取水にして川に水を戻す。そこから検討してゆく。
B	環境	定期的な川周辺の清掃を
B	環境	河川周辺の環境は以前に比べだいぶ良くなった。不法投棄ごみは汚い箇所に来るようです。
B	環境	外来生物が多数見られたが、対策が必要ではないか。
B	環境	自然環境の保全・再生地区を設けてはどうか。現在利用されているものはゾーニングが進みつつあるが、同時に保護区も必要では。
B	環境	コアジサシ営巣地に今年も営巣は見られなかった。大堰下流の浚渫工事に問題があるのでは。
B	その他	いらぬものは撤去すべき
B	その他	世話人から説明があった箇所もあるが、私見も含まれており、不快
B	その他	ほほえみ広場、川と人の交流を深める場として行政市民一体となり、将来ビジョンを明確にした中で、管理や利用の在り方を検討し段階的に目標管理をした中で進めるべきだ。
B	環境	護岸は可能な限り多自然型で。
B	環境	三川合流の土丹の露出原因と対策を検討すべき。
B	環境	三川公園厚木側は計画をストップすべき。建設、維持にもお金がかかる。現地の自然度が高い。
B	その他	河川敷内の耕作地は許可されるものですか。
B	その他	川のアーマーコート化の原因を探り対策すべき。
B	その他	スポーツ広場が多すぎる。休日なのに利用されていない場所が目立った。
B	環境	置き砂は河口に近い場所で行ってはどうか。
B	環境	増水後に残留したゴミ、土砂、流木等の処分は必要なのか？。処分する場合の方針？
B	環境	河原の生き物の住処を保全するため、車、バーベキューの制限をすべき。
B	環境	磯部頭首工右岸多目的広場は中止すべき。現地は稀少種の宝庫Cゾーン
B	環境	猿ヶ島に生育する絶滅危惧種(12種)の保全計画を計画していただきたい。
B	その他	モトクロスは一定のルールに基づき利用する方向か。地権者と利用者のみでルールを決めるのは問題。
B	その他	モトクロスは分散を防ぐためにも猿ヶ島ではルールを強化しながら存続させては。
C	利水	水量が少ないので相模大堰、寒川取水堰の利用検討
C	利水	水の需要は横這いまたは下降しているので相模大堰は必要ない。
C	環境	ほほえみ広場へ本川の水を引き込み水量を増やして水質をより良くする。

第2回 相模川ふれあい巡視 H21.10.18

意見・提案は原文のまま記載してあります。
一部、読み取れない部分は「」としてあります。
ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換 グループ等	付箋紙の 色分け (カテゴリー)	意見内容
C	環境	多自然川づくり、生物多様性の観点から広場、 スポーツ場利用は控えるべき。
C	環境	多目的広場にある絶滅危惧種ミソコウジュ、カワヂシャ、 カワラヨモギ、タコノアシの保護。ミクリ、コウライイチイゴケ、 マコモも保護してほしい。
C	環境	丸石河原、ワンド、伏流水、アシ原などの河川の地形を保全、 復元すべき。
C	環境	スポーツ広場前の相模川に昔は小川やワンドが3筋位あったので 復元してほしい。
C	環境	アブラコウモリがだんだん減っていまは10匹くらいしか見られない。 保護するためにも1坪位の小屋を堤防の空き管理地に 建ててはどうか？
C	環境	相模大堰下(右岸)もとの湿地に戻して、小川や池、子供たちが 入れるようなせせらぎ、小魚、昆虫、夜はアブラコウモリが 飛べるような環境、ホタルが飛べるような環境に戻してほしい。
C	環境	酒井のスポーツ広場前の相模川本流は流水が少なく、かつての 半分以下である。中州が広がるばかりで、もっと上流より水量を 増やしてはどうか。河床のコンクリートブロックを除去して、石ころを 入れてほしい。
C	環境	ほほえみ広場、多目的広場、1月ごろ災害防止のためにオギや ヨシを刈ってはどうか。芽吹きも春を感じてとてもよい。ヒバリや カヤネズミにとっても柔らかい草が再生されてよいのでは。
C	環境	酒井スポーツ広場グラウンドを小さく。
C	環境	水辺の保全ゾーンに関係なく、水辺を緩やかに。
C	環境	東名高速の上流で2月に火災があったが、ソニーの裏の河川敷から 防火帯としての川を堤防に沿って作って、多目的広場まで 流してはいかがか。
C	環境	東名高速の100m上流に伏流水があるが、この流水を利用して 生物の多様性に利用して生き物たちに恩恵を与えてほしい。
C	環境	相模川の外来種(アレチウリ)等の対策
C	環境	オオキンケイギク、ハルシャギク外来の草花の種を堤防に 播かないで、河川敷まで増えてくる冬場に根を掘り起こす。
C	環境	イタチハギ、アレチハナガサが増えてきており、除去する。
C	環境	10月16日から相模大堰のゲートを上げる。運用方法の見直し。
C	環境	コアジサシ除草
C	環境	コアジサシ営巣地人工的に作ったところは管理を要す。
C	環境	海老名側スポーツ公園の側の河川敷にヒロハノカワラサイコ、 カワラニガナ、アカメヤナギなど、絶滅しそうな植物が生えている。 保全をしてください。車を入れないで。
C	その他	スポーツ広場の芝の刈り方を考えてほしい。周囲は 生垣のようなもので囲い、昆虫を呼ぶ。
C	その他	多目的広場で身障者の車椅子の道を確保してください。

第2回 相模川ふれあい巡視 H21.10.18

意見・提案は原文のまま記載してあります。
一部、読み取れない部分は「 」としてあります。
ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換 グループ等	付箋紙の 色分け (カテゴリー)	意見内容
C	その他	河川の環境の保全・再生と利活用のバランスを考えていく。 多くの方に愛される河川に。
C	その他	サイクリングロード、散策路、厚木側にあるとよい。
C	その他	ゴミが思いのほか少なかった。
C	その他	左岸側の圏央道雨水排水対策
C	治水	流量が少ないのでみお筋の固定化
C	治水	川の自然を取り戻すための人工的な洪水を定期的に起こす。
C	環境	外来植物対策
C	環境	厚木市側について海老名三川公園と同じような人の 集う所にしてください。
C	環境	あゆみ橋のところで河床確保のため切土するならば、 親水公園整備をしてほしい。
C	その他	厚木市側にも早期に三川公園を作る。
C	その他	厚木市側エコミュージアムをすぐに作る(三川公園)
C	その他	三川合流点に市民・県民が楽しめる場所を作る。
C	その他	光ファイバーカメラ
C	環境	座架依橋付近の車の乗り入れは限定すべき
C	環境	河原の樹林化放置すると不法利用が増えてゆく
C	環境	カワラノギク、カワラサイコ、カワラヨモギ、カワラハハコ、 カワラナデシコ、カワラニガナの保全
C	環境	座架依橋上流について樹林帯の中に水を引き込み、 水辺にふれあえる環境を作る。
C	環境	河原の樹林化放置すると不法利用が増えてゆく
C	環境	広場等の人工的、面的整備は両岸で行わない。
C	環境	モトクロスのバイクのルールづくり、有料化し環境整備費にする。 範囲決めて利用させる。
C	環境	モトクロスの利用は場所を限定したほうがよい。
C	環境	座架依橋上流のモトクロスについて場所を区切って共存する。
C	環境	モトクロスバイクはコート内だけ走らせたなら！川原の中は 油で汚れる。
C	環境	磯部頭首工取水方法の変更。固定堰を除く。
D	その他	砂、シメが昔に比べ少ない。広場これ以上必要なし。 一般の人が元雄広場を利用できるようにすべき。
D	その他	行政が携わるとボランティアの人集めや作業が行いやすくなる。
D	その他	大地震の際にも取水機能が確保できるよう考慮しなければならない。
D	その他	関東大震災の際に土塊が滑落した箇所がある。
D	その他	川の生きている姿を意識した河川整備を行う。
D	その他	以前は砂利採取を行わないと川底への土砂堆積が進んだ。
D	その他	コアジサシがいなくなった。
D	利水	河川敷がこれだけ必要とわかった。でもダムは何をしているのか。
D	利水	利水が集中しており、大規模な地震が発生した場合の安全性、 被害の対応策が心配。堰と周辺の配水施設について。

第2回 相模川ふれあい巡視 H21.10.18

意見・提案は原文のまま記載してあります。
一部、読み取れない部分は「 」としてあります。
ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換 グループ等	付箋紙の 色分け (カテゴリー)	意見内容
D	利水	大堰は計算上、不必要だと思う。
D	環境	風景が10年前に比べて大きく変化している。
D	環境	酒井スポーツ広場に近い川の水量が少ない。アユも取れなくなった。
D	環境	礫河原を造成し、草を生やさない。カワラノギクの育成。外来種を防ぐ。
D	環境	河川敷の緑化について、維持管理を行うゾーンと自然のまま残すゾーン特分けする必要があると思った。不法投棄の対策にもつながる。
D	環境	相模大堰のカワラノギクが絶滅しないように再度再生を試みてはどうか。
D	環境	環境、治水を考慮した中洲の適正な規模。それを維持するために最低限の放流だけでなく、完遂させるための流水の工夫が必要ではないか。
D	環境	河川敷は何か利用しなければならないのか。利用の希望だけではなく、川の自然を守ることも必要。
D	その他	酒井スポーツ広場付近でランニングや散歩ができるようある程度の舗装を希望。その他との回遊性のある通との確保。
D	治水	洪水のパターンを考える。
D	治水	相模川と中津川の洪水の関係(どちらに雨が降るか) H11洪水での被害を考え、堤防を守ることと利用の関係を整理する。
D	治水	H18台風の洪水をとおして堤防の必要性を感じた。
D	環境	カワラノギクが数株残っていた。相模大堰のカワラノギクに草が生えていた。
D	環境	カワラノギクの栽培は何のためか。環境の保全か種の保存か、両面あるのではないか。
D	環境	水辺は貴重な環境。他の場所、河川でもここのやり方を活かす。
D	その他	スポーツ広場や多目的広場はこれ以上作る必要がないと思う。
D	環境	湧水は貴重。昔からの変化を航空写真、地形図等から調べ、なぜ変化したのかを調べる。
D	環境	湧水の池などがとところどころ見られたが、これらを増やせるか考えては？
D	環境	川の中の湧水の池。もっともっと川のことを知りたい。
D	その他	バーベキューや釣りなどいろいろな使い方ができてよいと感じた。多様化した使用に対応できる河川敷の整備が必要と思った。
D	環境	川の利用とは何か改めて考えさせられた。
D	環境	民地を含め開発計画があるとのことですが、民地を除いてのみ計画すべきである。
D	その他	川とは何か原点に立ち返って考え、現状処理を計画しよう。川とは何か？定義は。
D	その他	モトクロスバイクがうるさかった。危険なので走らないでほしい。
D	その他	モトクロスは危ないと思ったが自主ルールを定めていて、地元から苦情が出ていないということなので、いろいろな利用方法のルールづくりが必要と思った。

第2回 相模川ふれあい巡視 H21.10.18

意見・提案は原文のまま記載してあります。
一部、読み取れない部分は「」としてあります。
ご発言で頂いた意見は、意見内容を要約して記載しています。

意見交換 グループ等	付箋紙の 色分け (カテゴリー)	意見内容
その他	環境	これだけ大きな川の姿としてみると、川の流れが痩せているという印象を受けた。今後どういう形でこれを豊かにしていくかが大きな問題であり、今の姿で良いと思っているわけにはいかない。
その他	環境	川の利用として、家族での利用などが大事だと思う。家族での利用などが気軽にできる場所が手薄であると思う。家族での利用を考えると、芝生も大事だが、木陰も大事であり樹林地を残して利用するのは場所によっては良いと思う。
その他	環境	水辺の学校など、川で遊び、学べる場所がもっとあって良いと思う。川で遊び学べる場所を支援・援助することを考えていく必要がある。
その他	環境	河川敷が平らという印象を受けた。地形的な凹凸がもっとあってしかるべきであると思う。したがって、外来種も広がり易い。